

1 調査日 平成 26 年 7 月 15 日（火）

2 調査の概要

（1）県立体育館および県立琵琶湖漕艇場（大津市）

平成 36 年には滋賀県での国体開催が予定されており、今年度から県内の各競技会場の選定が行われていることから、県立社会体育施設の現状と課題について調査を行った。



（2）紀の国わかやま国体ボート競技事務所（大津市）

平成 27 年に開催予定の紀の国わかやま国体の競技のうち、水泳（飛込・シンクロ）、ボート、馬術、クレー射撃の 4 競技は和歌山県外で開催されるが、そのうちのボート競技については、滋賀県で開催されることとなっており、平成 26 年 4 月 1 日には、大津市大江の大江会館に県外開催競技現地事務所が開設された。

平成 36 年には滋賀県での国体開催が予定されており、今年度から県内の各競技会場の選定が行われているが、県外での開催競技も想定されることから、紀の国わかやま国体ボート競技事務所において現地事務所のあり方について調査を行った。



(3) 障害者スポーツ競技者との県民参画委員会（県立障害者福祉センター（草津市））

滋賀県では、平成 24 年 3 月に「新・障害者福祉しがプラン」を策定し、障害者スポーツ大会の実施・選手育成、多様な障害者スポーツの競技力の向上、参加機会の拡大などに取り組んでいるが、平成 36 年には滋賀県において全国障害者スポーツ大会の開催が予定されており、若い障害者がスポーツを始めるきっかけづくり、選手育成や競技力向上などに関する施策や組織体制の検討などを進めていく必要があるため、競技者との県民参画委員会を行い、障害者スポーツの振興をテーマに意見交換を行った。

